



### 第238回衛生常設調査委員会（3月18日）

佐藤工務部次長が挨拶を行った後、厚生労働省健康局水道課田中水道水質管理官から、最新の水質情報について以下の説明があり質疑を行った。

①亜硝酸態窒素の水質基準化及びそれに伴う検査方法告示の変更点等、②今後の水質基準等の改正方針、③クリプトスポリジウム等の遺伝子検出法に係る課題と対応、④水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針の今後の課題、⑤統一試料を用いた平成25年度精度管理調査の結果及び26年度の実施予定、⑥水質異常時における摂取制限等を伴う給水継続の実施についてのヒアリング等。



その後、平成27年度に改正が予定されているトリクロロ酢酸及びジクロロ酢酸に関連して、広島市から報告があり、その後意見交換を行った。

### 第90回検査事業委員会（3月20日）

はじめに、報告事項として、①第89回検査事業委員会議事録、②第37回検査施行要項等専門委員会の審議結果、③平成25年度のJIS製品認証業務の審査状況について報告を行い、異議なく了承された。

次に議題として、①水道用ソフトシール仕切弁検査施行要項の改正、②水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル製ソフトシール仕切弁検査施行要項の改正、③水道用硬質ポリ塩化ビニル管のダクタイル铸铁異形管検査施行要項の改正、④検査工場の登録の取消し及び検査の一時停止基準要綱の改正について、審議を行った。



各検査施行要項の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の宮井秀幸大阪市水道局技術監理担当課長から、専門委員会における審議結果の説明を行い、慎重審議の結果全て了承された。

### GLP マネジメント・レビュー（3月24日）

日本水道協会は、尾崎理事長及び関係者出席のもと、水道 GLP マネジメント・レビューを実施した。プログラムに沿って事務局から、水道 GLP 事務局に対する内部監査及び前年度のマネジメント・レビュー結果表に対する対応状況、並びに平成25年度の水道 GLP の審査・認定状況等について報告した。

尾崎理事長から、水道 GLP は水道水質検査機関に広く普及しており、それらの水質検査の品質保証に大きく貢献している。今後、審査体制及び水道 GLP 事務局の体制強化を図るとともに、審査技術の向上に努めるよう指示があった。



### 第176回工務常設調査委員会（3月24日）

JWWA 規格の改正の検討について審議したほか、耐震技術検討専門委員会の検討結果、井戸等の管理技術マニュアル改訂専門委員会および給水システムにおける水量管理に関する調査専門委員会の経過報告、また水質の最新情報等について報告を行った。



### 第134回事務常設調査委員会（3月24日）

はじめに、議題（1）「正・副委員長の互選」を行い、委員長には広島市水道局次長の野津山委員、副委員長には東京都水道局総務部長の松宮委員が就任した。

次に、議題（2）「事務常設調査委員長報告」について審議を行い、その結果、原案のとおり決定した。

続いて、報告事項（1）「簡易水道統合に係る事務処理の手引き」の作成について、（2）「水道料金制度に関する課題・論点整理」について、（3）「新訂 水道法逐条解説の改訂（追補）」について、（4）「平成23年度水道統計経年分析」について、（5）「水道事業における加入金調査（平成25年4月1日現在）」につ



いて、(6)「水道耐震化推進プロジェクトの活動報告」について、それぞれ資料に基づき事務局より報告を行った。また、報告事項(7)「その他」として、「地方公営企業会計におけるリース会計制度の導入に伴う経過措置に係る移転リース取引及び移転外リース取引が税法上のリース取引に該当する場合の消費税の取扱い」について、資料に基づき事務局より説明を行った。

#### 第927回会誌編集委員会（3月25日）

本誌4月号、5月号、6月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

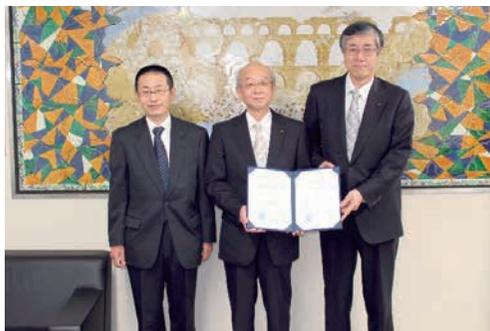


#### 第86回水道 GLP 認定委員会（3月25日）

水道 GLP 認定について、日本衛生株式会社（申請番号：JWWA-GLP106）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として、北九州市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP002、3月28日付）、(株)環境科学研究所（認定番号：JWWA-GLP005、3月28日付）、(株)日本環境技術センター（認定番号：JWWA-GLP059、3月23日付）、秋田市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP060、3月23日付）、(株)環境公害センター（認定番号：JWWA-GLP061、3月23日付）、松山市公営企業局（認定番号：JWWA-GLP062、3月23日付）が、認定維持検査機関として(株)東海テクノ（認定番号：JWWA-GLP082）が、それぞれ審議され決定された。

## 水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



3月26日

岡山県広域水道企業団  
(認定番号：JWWA-GLP102)

## 第9回 GLP 運営委員会（3月26日）

日本水道協会は、平成25年度水道 GLP 運営委員会（委員長 眞柄泰基トキワ松学園理事長）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。委員会では、水道 GLP は認定開始以降9年目を迎え、また、認定機関も100箇所を超え、日本の水道水質検査機関の検査結果の信頼性向上に役立っている。引き続き厳格な審査を行うとともに、認定機関の増加に対応すべく審査の効率化や審査技術の向上に努め、水道 GLP を更に進展させるようにとの意見が出された。



## 第5回理事会（3月27日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「公益社団法人日本水道協会平成25年度決算見込」、報告事項3「総務部企画室の設置」、報告事項4「全国会議における海外水道協会の招聘と国際イベントの拡充」、報告事項5「職員の懲戒処分」について、それぞれ事務局から報告を行った。

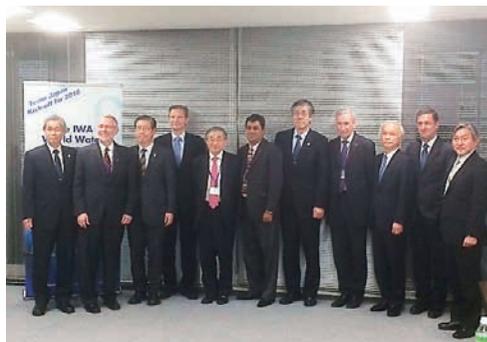
続いて第1号議案「公益社団法人日本水道協会平成26年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会日本水道会館建替資金の保有」、第3号議案「会員の入会」、第4号議案「公益社団法人日本水道協会第84回総会の開催及び開催通知の送付」、第5号議案「水道維持管理指針改訂特別調査委員会の設置」の5件が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



## 第2回2018年 IWA 世界会議・展示会開催準備委員会（4月8日）

4月8日に本協会において IWA ワークショップ“Water and Energy/Water Loss”を開催した。ワークショップ終了後、IWA 会長 Glen Daigger 氏ほか IWA 役員らと、花木東京大学大学院教授をはじめとする2018年 IWA 世界会議・展示会の国内開催関係団体の代表者が集い、世界会議開催に向けての準備委員会を開催した。

会議では、日本側からは会議開催に向けての準備状況、IWA 側からは IWA 世界会議の位置付けと意義等に関する説明があり、その他、会議開催に係る意見交換を行った。



---

## 水道協会雑誌平成26年4月号掲載記事の訂正について

本誌平成26年4月号に掲載いたしました「英文目次」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

<正>

Validation of an Analytical Method for Agricultural Chemicals in Drinking Water by LC/MS/MS  
…by Norihiro KOBAYASHI, Reiji KUBOTA, Reika KOU, Masanori ANDO, Yoshiaki IKARASHI… (3)  
Arrears Reduction Measures Trial in Local Water Supply Companies in Indonesia  
……………by Daizo IWATA, Hiroyasu SAITO… (15)

<誤>

Arrears Reduction Measures Trial in Local Water Supply Companies in Indonesia  
……………by Daizo IWATA, Hiroyasu SAITO… (3)  
Validation of an Analytical Method for Agricultural Chemicals in Drinking Water by LC/MS/MS  
…by Norihiro KOBAYASHI, Reiji KUBOTA, Reika KOU, Masanori ANDO, Yoshiaki IKARASHI… (15)